

# リサイクル工場破碎機から体の一部 作業員不明、事故か

2016年9月6日 14時09分

5日午後4時半ごろ、奈良市南庄町にあるリサイクル会社「I・T・O」の工場で作業員の男性(45)の行方が分からなくなった。奈良県警によると、男性は破碎機につながるベルトコンベヤーの近くで作業をしていた。その後、破碎された木片に混じって、男性がかぶっていたとみられるヘルメットの破片や体の一部とみられるものが見つかったという。県警は、男性が破碎機に巻き込まれた可能性があるかとみている。

県警によると、同社をめぐっては、先月2日にも同県大淀町にある別の工場で派遣社員の男性(67)がベルトコンベヤーに巻き込まれて死亡。先月20日には、今回の工場の敷地内で重機と駐車中のトラックに男性作業員(56)が挟まれて死亡したという。(朝日新聞)

## 1 奈良の工場で死亡事故相次ぐ 警察が安全管理を捜査

9月6日 19時34分



[動画を再生する](#)

奈良市のリサイクル工場で5日、作業員の行方がわからなくなり、木材を切断する機械の中から遺体の一部が見つかりました。警察は誤って巻き込まれたと見て、詳しい状況を確認するとともに、先月、この工場や系列の工場で2人が死亡していることから、安全管理に問題がなかったか調べています。

5日午後5時すぎ、奈良市南庄町のリサイクル工場、I・T・O南庄リサイクル工場で、「作業員の行方がわからなくなり、機械に巻き込まれたかもしれない」と警察に通報がありました。

警察官が駆けつけたところ、木材を細かく切断する破砕機の中から、45歳の男性作業員と見られる遺体の一部や、ヘルメットの破片などが見つかりました。

警察によりますと、男性は5日に初めて、この機械を扱ったということで、誤って巻き込まれたと見られています。

この工場では先月、作業員がトラックとショベルカーの間に挟まれて死亡し、奈良県大淀町にある系列の工場でも、作業員が破砕機に巻き込まれて死亡しています。

警察は現場検証を行って詳しい状況を確認するとともに、安全管理に問題がなかったか工場の関係者から話を聞くなどして調べています。（NHK）

## 2 破砕機初作業か、リサイクル会社5日の死亡事故

2016年09月07日

奈良市南庄町の木材リサイクル会社「I・T・O」の2工場で約1か月間に作業員3人が業務中に死亡した事故で、5日の事故で破砕機に巻き込まれたとみられる男性作業員(45)が同機器で作業

したのはこの日が初めてだったことが県警奈良署への取材でわかった。県警は安全管理上の問題がなかったか調べる。

5日の事故では同社所在地の南庄工場で破砕機から骨の一部などが見つかり、同署が身元の確認を急いでいる。同署によると、男性作業員は8月末から工場で働き始め、破砕機を使った作業は5日が初めてだったという。

一方、奈良労働基準監督署も6日、同社に立ち入り調査を実施。副署長らが同工場内で破砕機の配置状況などを確認し、作業員らから事情を聞いた。

同社では2011年4月にも同工場で男性従業員がベルトコンベヤーの清掃作業中、機械に巻き込まれて死亡する事故が起きた。同労基署が同7月、コンベヤーが突然動き出さないよう起動装置をロックするなどの対策を怠ったのが事故の原因として、同社と主任社員を労働安全衛生法違反容疑で書類送検している。

2016年09月07日 Copyright © The Yomiuri Shimbun